



指導案づくりについて

R 2 年度
那覇市教育委員会

各教科等において育成を目指す資質能力の三つの柱を明確にし、各教科の特質に応じた「見方・考え方」を働きながら考えを広げたり深めたりするため、「主体的・対話的で深い学び」の視点から授業改善を進める。

- ①「知識・技能」の習得
- ②「思考力・判断力・表現力等」の育成
- ③「学びに向かう力・人間性等」の涵養

<主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業改善>

○学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しを持って、粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次ぎにつなげる「主体的な学び」が実現できているか。

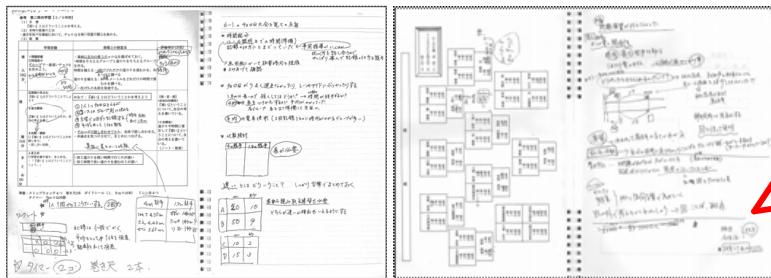
○子供同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自己の考えを広げ深める「対話的な学び」が実現できているか。

○習得・活用・探究という学びの過程の中で、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働きながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう「深い学び」が実現できているか。

各学校におかれましては、下記の視点に留意して、指導案作成をして下さい。

1 「教材研究」の充実 ○指導案は板書計画を含め3ページにまとめる。

深い教材研究は マイノートに記録する。



- ・日々の授業でのメモ
- ・教材教具の準備
- ・予想される児童生徒の反応例
- ・板書計画
- ・発問
- ・事前事後指導 等

「2 単元について」を充実させる。

- 何を身につけさせるために
- どのような実態の子ども達に(児童生徒観)
- どのような教材の価値を (教材観)
- どのような手立てを講じていくか (指導観)



2 展開の工夫 ○マイノートからポイントを絞り、まとめる。

授業のめあて・身につけたい力を明確にする

書く活動、かかわり合う活動を取り入れる

指導形態の工夫
ペア学習、グループ学習

ICTを活用した授業の工夫

授業における評価を生かした授業

授業の「めあて」に正対した「まとめ」、「学習の振り返り」を確実に行う

参考資料:「小学校・中学校 学習指導要領 各教科解説」 文科省 (現…(中)H20.9、新…(小)H29.7・(中)H29.7)

「沖縄県学力向上推進5か年プランプロジェクトⅡ」 沖縄県教育委員会 (R2. 3)

「R2年度版『問い合わせ』が生まれる授業サポートガイド」 沖縄県教育委員会 (R2. 3)

「ふくぎ じんぶな～プラン」 那覇市教育委員会(H31.4)

「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する資料 文科省 (R2.3)